

3代目 1967年(S42年)~

白いクラウン

名神全線開通など高速道路が急ピッチで建設される中、「ゆとりある高速長距離セダン」を目指して開発。オーナーカーとしての色合いを強め、「白いクラウン」をキャッチフレーズとして発表された。



主なグレード	クラウン・スーパー・デラックス	クラウン・デラックス	クラウン
車両型式	MS50-F	MS50-D	MS50-H
採用技術・装備	■ 2ドアハードトップボディ追加 ■ パワーステアリング ■ ベリメーターフレーム<日本初> ■ パワーウィンドウ ■ フロント・ディスクブレーキ		

3代目クラウンとなる、MS50系、RS50系トヨベット・クラウンは、1967年に登場し、1971年までの4年間販売されました。

1967年は、3代目クラウンのほかに、現在でも販売されているトヨタブランドの最高級車であるセンチュリー、さらには生産台数わずか337台の伝説のスポーツカー、トヨタ2000GTが発売された年でもありました。

それまでは、クラウンといえば公用車あるいは社用車で、ボディカラーは黒塗り仕様が多い中、個人オーナーがよりカジュアルに乗れる、「白いクラウン」というキャッチフレーズとともに登場したのが、この3代目クラウンでした。当時の広告キャンペーンは、「白いクラウンは幸せなハイライフの象徴」であって、「しかもお求めやすい価格です」と後に続いたものでしたが、これは当時の、高級乗用車=黒塗り車体=法人需要というイメージを一新させたもので、3代目クラウンはそれまでにはなかった「高級自家用乗用車市場」を作り上げることに成功しました。

ボディ形状のバリエーションとしては、8人乗りのステーションワゴンタイプの、「クラウン・カスタム」も、2代目クラウンと同様に発売され、こちらは官公庁や建設業などの需要に応えるものでした。

さらにこの3代目クラウンで話題になったのが、ハードトップモデルの登場でした。このハードトップモデルは、1968年に登場し、2ドアでリスボーティなモデルとして、国産車で初となるホイールキャップなしのディスクホイールや、丸目4灯のヘッドライトから、角目2灯へ、よりダイナミックでスポーティな顔つきに変更され、特にゆとりがある車年層に人気がありました。

次に、3代目クラウンの商品開発について、テーマとして「高速長距離セダン」というものがありました。当時の日本では、名神高速、中央高速、東名高速、首都高速環状線など、高速道路の整備が整備され始め、ゆとりある高速長距離セダンをという声が高まるなか、高速走行における操縦性の確保や居住性の向上、さらには安全面に配慮した諸整備を施されているのが、この3代目クラウンの大きな特徴となります。

まず、高速走行の操縦安定性に関しては、ハンドルの操作が従来のものより軽くできるリサーキュレーション、ボール式(ボルナット式)ステアリングが採用されました。

さらには、ステアリングのギヤ比を可変することで、据え切りや低速走行時には軽く、高速走行時にはしっかりといたシャープなハンドル操作が可能になりました。

次に、居住性の向上について、初代、2代目トヨベット・クラウンがはげ型(X型)フレームを採用しているに対し、この3代目トヨベット・クラウンはペリメーターフレームを採用しています。このペリメーターフレームというものは、従来のはげ型フレームの床下を通る梁の骨組みを無くし、車体の周囲にフレームを施すことによって剛性を確保しつつ、床下を深く、広くすることができますので、2代目と比べ、客室が長さ50mm、幅15mm、高さ25mm拡張することができます。

安全面に関しては、1968年からアメリカで適応された安全基準20項目中、国産車で初めて19項目をクリア。さらには、脱落ミラーの採用など、クラウン独自の安全装備も採用されました。

1967年(S42年)		1968年(S43年)		1969年(S44年)		1970年(S45年)	
世界と日本	岡山県と地域	世界と日本	岡山県と地域	世界と日本	岡山県と地域	世界と日本	岡山県と地域
7月 ■ 欧州共同体(EC)が発足	8月 ■ 東南アジア諸国連合(ASEAN)が設立	2月 ■ 小笠原諸島がアメリカから返還される	10月 ■ 東名高速道路が開業	5月 ■ 岡山市内電車番町線が廃止	7月 ■ 東名高速道路が全線開通	2月 ■ 「水戸黄門」「ザザエさん」が放送開始	3月 ■ カンボジアでクーデター
■ 国道53号線辛香峠バイパス開通式	■ 小笠原諸島がアメリカから返還される	■ 岡山市新庁舎完成	■ 岡山市内電車番町線が廃止	■ アポロ11号が人類初の月面有人着陸	7月 ■ 新成羽川ダム完工式	3月 ■ 日本万博博覧会(大阪万博)を開催—アジア初	6月 ■ 勤労者福祉センター「山陽ハイツ」完成
■ 倉敷市章と市歌選定	■ ナウル共和国がイギリスから独立	■ 岡山市内電車番町線が廃止	■ 岡山市新庁舎完成	■ 天満屋新岡山店開店	7月 ■ 天満屋新岡山店開店	■ 日本初の人工衛星「おおすみ」を打ち上げる	7月 ■ 本四連絡橋公園設置
■ 小笠原諸島がアメリカから返還される	■ 東名高速道路が開業	■ 岡山市内電車番町線が廃止	■ 岡山市新庁舎完成	■ 新成羽川ダム完工式	9月 ■ 天満屋新岡山店開店	■ 日本万博博覧会(大阪万博)を開催—アジア初	■ 鶴羽山スカイライン開通式
■ 岐阜・倉敷・玉島市が合併して倉敷市となる	■ ナウル共和国がイギリスから独立	■ 岡山市内電車番町線が廃止	■ 岡山市新庁舎完成	■ 天満屋新岡山店開店	9月 ■ 天満屋新岡山店開店	■ 勤労者福祉センター「山陽ハイツ」完成	■ 鶴羽山スカイライン開通式

岡山トヨタ レストアクラウンプロジェクト

倉敷店・U-Car倉敷

【営業開始日】 1968年12月
【スタッフ数】 35人

レストアポイント

【修理担当箇所】 サスペンション系

現在とさほど変わらない足回り
しっかり動くように給油や交換をしました。

